

令和7年6月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年6月24日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 高校生・大学生等を対象とした課題探求型ワークショップ
「しぶかわ未来共創ユースセッション」を開催します(資料1)
- 2 令和7年度ふるさと渋川学生奨励金の給付希望者を
申請方法を変更して募集します(資料2)
- 3 保育のやりがいと魅力を感じていただくため
保育のお仕事体験ツアー第1弾を実施します(資料3)
- 4 ふるさと納税の返礼品として「伊香保ハワイアンフェスティバル
メリーモナークショー観覧チケット」を提供します(資料4)
- 5 渋川市20周年記念事業 官民協働事業による「渋川市くらしの便利帳2025」
を発行しました(資料5)

○次回開催予定

日時：令和7年6月30日(月) 午後1時

場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月23日(月)	10:00	6月市議会定例会:表決、閉会	議場	議会事務局
6月24日(火)	13:00 14:30	市長定例記者会見 群馬県国民健康保険団体連合会令和6年度決算監査	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 保険年金課
6月25日(水)				
6月26日(木)	10:00 14:00	渋川へそ祭り実行委員会・ポスター選考会 第75回“社会を明るくする運動”渋川北群馬推進委員会	市役所第二庁舎 金島ふれあいセンター	観光課 地域包括ケア課
6月27日(金)	8:45 10:30 13:30	令和7年度渋川市及び渋川地区広域市町村圏振興整備組合職員表彰式 広域組合 情報公開審査会及び個人情報保護審査会 広域組合管理者・副管理者会議	市役所本庁舎 広域組合事務所 広域組合事務所	人事課 広域組合 広域組合
6月28日(土)	10:00	中村こども園新園舎竣工記念式典	中村こども園	こども支援課
6月29日(日)	8:30	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2025 in 渋川伊香保 開会式・セレモニアルスタート	渋川スカイランドパーク 遊園地ほか	スポーツ課
6月30日(月)	9:00 13:00 終了後 15:00 17:00	庁議 渋川市地域おこし協力隊委嘱状交付式 市長定例記者会見 長寿者顕彰 子持産業振興(株)臨時株主総会・取締役会	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎 市内 子持行政センター	政策戦略課 政策戦略課 広報室 高齢者安心課 農政課

高校生・大学生等を対象とした課題探求型ワークショップ 「しぶかわ未来共創ユースセッション」を開催します

人口減少や少子高齢化がもたらす様々な地域課題について、これからの社会を担う若者の視点から向き合い、解決に向けたアイデアを出し合ってもらうことで、将来のしぶかわを共に創っていく意識の醸成と、実際の市政への若者参加を促すことを目的に、「しぶかわ未来共創ユースセッション」を開催します。

1 目 的

急速に進む「人口減少」や「少子高齢化」は、学校や公共施設、行政サービスの在り方など、地域の将来に深く影響を及ぼしており、様々な課題が顕在化しています。渋川市は、こうした課題を市民と共有し、未来志向でともに考える場として、令和6年度から地区別ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創セッション」を実施しています。

一方で、これらの課題は、今後を担う若者の暮らしや働き方、学びの場にも大きく影響するものであることから、若者自身の視点や意見を政策に反映していくことが必要です。そこで、「しぶかわ未来共創ユースセッション」として、次代を担う若者を対象とした課題探求型のワークショップを新たに企画しました。

本セッションでは、2日間の参加を通じて、渋川市の未来について当事者意識を持って地域課題に向き合い、解決に向けた自由で柔軟なアイデアを出し合ってもらうことで、将来のしぶかわを共に創っていく意識の醸成と、実際の市政への若者参加を促すことを目的として開催します。

2 日 時

(1) 1日目：令和7年7月19日(土) 午後2時～4時

(2) 2日目：令和7年8月24日(日) 午後2時～5時

※原則、2日間とも参加いただきます。

3 会 場 渋川市民会館 会議室（渋川市渋川2795）

4 内 容

参加者は、渋川市が提示する地域課題から探求するテーマを選び、同じテーマを選んだメンバーとグループ（4～5名想定）を組み、ワークショップ形式で課題解決に向けた提案を検討・発表します。

1日目は、渋川市の現状や課題の共有、探求するテーマの決定などを行います。

2日目は、各自で探求した結果を持ち寄り、グループで協議のうえ、探求成果を通じた課題解決アイデアの発表を行っていただきます。

5 対 象 者

高等学校以上の教育機関に在学する人（高校生・大学生・専門学校生など）

6 定 員 20人程度（応募者多数の場合は抽選）

7 参 加 料 無料

8 申込方法

- (1) 氏名、年齢、在学する学校名、電話番号を、電話（0279-25-8419）またはメール（mirai@city.shibukawa.gunma.jp）で政策戦略課へ
- (2) 専用応募フォーム（<https://logoform.jp/form/6c9p/1089317>）から申込み

応募フォームはこちらから▶



9 申込期限 令和7年7月14日(月)

10 その他

(1) 探求成果の取り扱い

- ・市ホームページ、市公式SNS、広報等で提案内容を紹介します
- ・各グループが作成した事業提案書を整理・集約後、関係部署に展開し、次年度以降の市の事業への反映を目指します
- ・事業立案への反映状況を広く公表します

(2) 活動証明書の発行

- ・参加者には、大学入試の総合型選抜や就職活動等で活用可能な「ボランティア活動証明書」を、希望により発行します

参考

しぶかわ未来共創セッションの開催状況

	開催日	会場	参加者数
しぶかわ未来共創 ウインターセッションin伊香保	令和7年2月6日	伊香保公民館 講義室	13人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin小野上	令和7年3月26日	小野上公民館 講義室	24人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin金島	令和7年4月24日	金島公民館 ホール	12人
しぶかわ未来共創 まちなかセッション	令和7年5月30日	渋川公民館 講堂	11人
しぶかわ未来共創 サマーセッションin豊秋	令和7年7月8日(火)	豊秋公民館 講堂	—

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

あなたのアイデアが
渋川市の未来を創る！

課題探求型ワークショップ

しぶかわ未来共創
ユースセッション

参加者
募集

開催日程

※原則、2日間ともご参加をお願いします。

7/19 土

8/24 日

14:00～16:00

14:00～17:00

会場

渋川市民会館（渋川市渋川2795）

アクセス

【バス】「市民会館前」下車徒歩約1分

【電車】JR「渋川駅」から徒歩約20分

今、渋川市は、人口減少、少子高齢化を要因とする様々な課題に直面しています。これらの課題を乗り越え、誰もが幸せに暮らせる渋川市を目指すために、未来を担う皆さんの自由で柔軟なアイデアを求めています！

POINT 1

探求学習の成果に

市が提示する課題をグループで探求し、課題解決につながるアイデアを提案してもらいます。

POINT 2

アイデアが市の事業に

優れたアイデアは、令和8年度以降の市の事業への反映を目指します。

POINT 3

ボランティア証明書を発行

参加いただいた方に、大学入試や就職活動等で活用可能なボランティア証明書を発行します。

対象

高校・大学・専門学校生

参加料

無料

定員

20名程度

申込方法

右下の2次元コードを読み取り、応募フォームから申し込んでください。

申込期限

7月14日（月）まで

〒377-8501 渋川市石原80
渋川市 総合戦略部 政策戦略課

☎ 0279-25-8419

3 Mail : mirai@city.shibukawa.gunma.jp



令和7年度ふるさと渋川学生奨励金の給付希望者を 申請方法を変更して募集します

渋川ライオンズクラブからの寄附金を原資とする「こども夢基金」を活用し、将来の夢の実現に向けて努力する人材を支援する、「令和7年度ふるさと渋川学生奨励金」の給付希望者を募集します。

今年度から、申請方法を3分以内のPR動画を提出していただく方法に変更しました。給付対象となる人のPR動画は、渋川市ホームページで公開します。

1 概 要

「ふるさと渋川学生奨励金」は、奨励金を給付することにより、将来の夢の実現に向けて努力する人材を支援するものです。

今年度は、給付希望者がより応募しやすくなるように、申請と審査の方法を変更しました。これまでは、1,200字以内の提案書を提出した後で、15分程度の公開プレゼンテーションによる審査を経て給付対象者を決定していました。このうち、申請は、応募者が「今何を頑張っていて、将来どんな夢を実現したいのか」をまとめた3分以内のPR動画を提出してもらう方法としました。また、これまで個人に限定していた申請を、グループでの申請ができるようにしたほか、オンラインでの申請を可能としました。

審査の方法は、提出された3分以内のPR動画を、非公開の選考委員会において審査を行い、奨励金の給付者を決定する方法としました。

なお、給付対象者に決定したPR動画は、渋川市ホームページで公開します。

2 奨励金の金額 10万円

※1人（1グループ）1回の受給を限度とします

※返済の必要はありません

3 給付対象者 3人（グループ）以内

4 応募者の要件

次のいずれかに該当すること（グループ申請の場合は全員が要件を満たすこと）

- (1) 渋川市に住所を有し、応募時に高等学校、中等教育学校（後期課程に限る）、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校（高等課程又は専門課程に限る）又はこれに準ずる学校に在学する者
- (2) 過去に渋川市に1年以上住所を有していたことがあり、かつ、応募時に(1)に示す学校に在学する者
- (3) 渋川市内にある県立の高等学校又はこれに準ずる学校に在学する者
- (4) 渋川市内にある県立の高等学校又はこれに準ずる学校を卒業し、応募時に大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校又はこれに準ずる学校に在学する者

5 グループの要件

次の団体は申請できません。

- ・クラブチーム
- ・学校に所属や登録をしている部活動やサークル活動などの団体
- ・政治団体
- ・宗教団体
- ・営利を目的とする団体
- ・反社会的団体
- ・公序良俗に反する団体

6 応募書類等

(1) 申請書

(2) 3分以内のPR動画

動画のはじめに在学中の学校名、学年、氏名、将来の夢（タイトル）を読み上げてください。PRの方法は自由です。スマートフォンで撮影したものでも構いません。

7 申請方法

(1) 申請フォームからの申請（オンライン申請）

市ホームページの申請フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。動画データは、YouTubeに限定公開でアップロードし、URLを申請フォームに入力してください。

(2) 郵送・持参による申請

申請書に必要事項を記入し、動画データを記録したDVDを添えて、郵送または持参で教育総務課（〒377-0007・渋川市石原6-1・渋川市役所第二庁舎教育委員会内）へ提出してください。

8 申請期間 令和7年7月1日(火)～9月19日(金)

9 選考方法

給付選考委員会で申請書及びPR動画の審査により給付対象者を決定

10 選考委員 教育長、教育委員（4人）、渋川ライオンズクラブ会長

11 選考期間 令和7年9月下旬～10月下旬

12 給付対象者の決定と結果通知 令和7年11月（予定）

参考

過去の給付実績（敬称略）

年度	氏 名	提案書の概要
R 2	君島 誠一 (大学生)	ロシア人観光客を呼び込めるよう、自身が学ぶロシア語を生かして、伊香保温泉や創作こけしを資源とした渋川市の魅力などの情報を発信し貢献したい。
R 3	塩浦 桃蘭 (専門学校生)	保育の領域と介護の領域の両方の社会福祉の学びを生かして、子ども一人ひとりの個性や気持ちを大切にできる、介護の知識を持った保育者として、渋川市に貢献したい。
	グルン アニタ (専門学校生)	介護福祉士として、入居者と家族にも幸せを感じてもらえる丁寧な介護をし社会に貢献できるようになること。渋川市と母国ネパールの架け橋になることで貢献したい。
R 4	小池 雪 (専門学校生)	保育実習を通じて自分の良さを発見できた。子どもたちが伸び伸び成長でき、保護者が安心して子どもを預けられる保育士を目指し、渋川市で活躍できるように成長していきたい。
	山田 ゆめり (専門学校生)	介護施設の利用者の尊厳を保持し、その人らしさを引き出す支援ができる介護福祉士になりたい。また、地域の行事と活動に参加し、行事の楽しさを発信して盛り上げていきたい。
	樋口 諒祐 (高校生)	白井城を再建したいという思いから、地元の魅力を知ってもらいたいと考えるようになった。大学に進学して見聞を広め、地域の良さを広く発信していきたい。
R 5	樋田 果保 (大学生)	大学での学習やボランティアを通じて、教員になりたいという思いが強くなった。渋川市の子どもたちに学ぶ楽しさを伝え、子どもの「やってみたい」を引き出す教員になりたい。
	一場 咲穂 (大学生)	大学で学んだマーケティングや地域プロモーションを生かし、大学進学を機に渋川市の外で暮らして気付いた渋川市の魅力を発信することで、渋川市に貢献したい。
	後藤 弘道 (高校生)	大学入試に向けて学習に励むうち、渋川市内の学習室に「入試対策センター」を作る夢を抱いた。将来は教員になり、施設の実現に向けて渋川市への働きかけを行いたい。
R 6	関口 凌 (高校生)	商店街活性化イベントの運営経験から、渋川市の人口減少対策に疑問が湧いた。根本的解決につながる地域再生のため、渋川を出て経験を積み、渋川へ戻り日本を渋川から変えたい。
	狩野 陽美 (高校生)	観光業に就職するため、高校の課題研究では、群馬の観光地についてのWebサイトを制作している。大学で観光業について深く学び、将来は渋川市の観光を活性化させたい。
	福島 麻理亜 (大学生)	高校、大学での海外研修や留学経験から、日本との食文化の違いに衝撃を受けた。将来は、異文化交流をきっかけに渋川と世界の国々の懸け橋になる子どもを増やしたい。

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：教育総務課（電話0279-22-2076）

課長 西島 薫（内線4940）

管理係長 狩野 直（内線4947）

資料3

保育のやりがいと魅力を感じていただくため 保育のお仕事体験ツアー第1弾を実施します

渋川市は、令和7年8月4日(月)から7日(木)にかけて、保育のお仕事体験ツアー第1弾を開催します。

これは、過去に保育に携わっていて復職を希望する人や、渋川市内に在住または在学する高校生を対象に、渋川市内の公立の保育所及び認定こども園で保育のお仕事を体験していただき、その魅力を感じていただくことで、保育人材の確保につなげるものです。

1 経 緯

全国的な問題となっている保育現場の人材不足については、渋川市内の施設でも、保育人材の確保には苦慮しており、渋川市には、「今後も保育士が続けられ、ゆとりある生活を送るために、保育士の処遇や労働環境の改善を全力でお願いしたい。」との声が寄せられている状況です。

このような保育現場の実状を踏まえ、渋川市は、令和6年度から保育人材の確保に向けた総合的な取り組みを進めています。その取り組みの一環として実施する第1弾の体験ツアーは、昨年度に引き続き、渋川市内の公立施設で保育のお仕事を体験していただくものです。

2 目 的

今回の体験ツアーは、参加者に実際に保育のお仕事を体験していただいた上で、保育の仕事の魅力を感じていただくものです。

過去に保育に携わっていて復職を希望する人については、保育現場への復職に対して不安を軽減することを目的に実施します。また、高校生については、保育等に必要な資格を取得するための大学、短期大学及び専門学校を、進路の選択肢に加えてもらうために実施するものです。

3 内 容

このツアーは、参加者の希望する日に、希望する施設で保育のお仕事を体験していただくものです。

(1) 実施日・体験施設（1人1日限り。各日定員5人）

実施日	体験施設
8月4日(月)	第四保育所
8月5日(火)	第一保育所
8月6日(水)	第五保育所
8月7日(木)	伊香保こども園

(2) 集合時間など

午前9時30分に渋川市役所本庁舎正面玄関に集合、午後2時30分に解散予定

(3) 対 象 者

- ①過去、保育に携わっていて、復職を希望する人
- ②渋川市内に在住又は在学する高校生

(4) 内 容

施設見学、保育体験、現役保育士との対話など
※施設で給食を試食します

4 応募方法

- (1) 市ホームページに掲載する応募フォームでの申し込み
- (2) 氏名、携帯番号、参加希望日、高校生は学校名・学年・保護者氏名・保護者連絡先を、メール (hoikuyouchien@city.shibukawa.gunma.jp) でこども支援課へ

5 申込期間 令和7年7月1日(火)～7月31日(木)

6 その他

保育のお仕事体験ツアー第2弾の概要

(1) 実施日・体験施設 (1人1日限り)

実施日 (令和7年)	体験施設	
	午前	午後
9月1日(月)	こもち幼稚園	第五保育所
9月2日(火)	赤城幼稚園	第四保育所
9月3日(水)	北橋保育園	第一保育所
9月4日(木)	北橋幼稚園	伊香保こども園
9月5日(金)	渋川幼稚園	第五保育所

(2) 対象者 指定保育士養成施設の学生

参考

1 渋川市の保育人材確保に向けた総合的な取り組みの概要

課題	戦略	取り組み
保育人材確保	教育・保育施設の採用活動を支援して求人施設と求職者をつなぐ	○保育人材バンクの運営 ※令和6年度～
	新規採用保育士を確保する	○保育人材確保対策事業補助金 ・保育士奨学金返済支援事業 ・保育所等新規採用保育士家賃補助事業 ・保育所等保育士紹介手数料補助事業 ※令和7年度～
	保育のやりがいと魅力を発信して保育への関心を高める	○保育の仕事体験ツアーの実施 【令和7年8月】潜在保育士・高校生 【令和7年9月】指定保育士養成施設学生 ○保育の仕事やりがい魅力発信ブックの発行【令和8年1月発行予定】
保育人材育成	保育従事者の研修受講機会を拡大して保育の質と専門性を高める	○保育人材育成講座の開催 【第1回：令和7年6月23日(月)】 【第2回：令和7年7月29日(火)】 【第3回：令和7年8月8日(金)】 【第4回：令和7年9月22日(月)】 ○保育スキル向上研修参加の推進 【随時】
保育人材定着	保育従事者の業務負担を軽減して余裕をもって保育に臨めるようにする	○保育支援者の配置 【随時】
	現役保育士を応援するための手当を支給し、定着を図る	○保育従事者応援手当の支給 保育士1人当たり5,000円 ※令和7年度～

2 令和6年度の保育のお仕事体験ツアー第1弾の実績

開催日	開場	参加人数	内訳
8月5日	第一保育所	5人	全て高校生
8月6日	第四保育所	5人	全て高校生
8月7日	第五保育所	6人	全て高校生
8月7日	伊香保こども園	4人	全て高校生

■問い合わせ先

育都推進部 部長 斉藤 章吉（内線1150）

担当：こども支援課（電話0279-22-2415）

課長 野中 文子（内線1201）

保育幼稚園係長 田子 純一（内線1203）

資料4

ふるさと納税の返礼品として 「伊香保ハワイアンフェスティバル メリーモナークショー観覧チケット」を提供します

渋川市は、ふるさと納税制度を活用した市の魅力発信と地域経済の活性化の取り組みの一つとして、令和6年度から伊香保ハワイアンフェスティバルで実施される「メリーモナークショー」の観覧チケットを返礼品として提供しています。
今年度は、開催期間中（7月29日～8月1日・4日間）の各日4席、計16席限定で、最前列の特別席を返礼品として扱います。

1 概要

渋川市は、ふるさと納税制度を活用した、市の魅力発信と地域経済の活性化を図るため、令和6年度から伊香保ハワイアンフェスティバルで実施される「メリーモナークショー」の観覧チケットを返礼品として提供しています。

今年度は、開催期間中（7月29日（火）～8月1日（金））の各日4席、計16席限定で、通常販売の最前列（S席）の前に設置する特別席を返礼品として扱います。

【昨年度との違い】

提供席内容	令和6年度	令和7年度
期 日	8月4日の1日のみ	7月29日～8月1日の4日間
提供数	12席	4席×4日間の16席
種 別	通常販売最前列S席	特別席（S席の前）

2 イベントについて

- (1) 名 称 伊香保ハワイアンフェスティバル2025
- (2) 開催期間 令和7年7月29日（火）～8月1日（金）
- (3) 会 場 メインステージ（市営物産駐車場）、街角会場（伊香保石段街）
- (4) 内 容 メインステージフラセッションや街角ハワイアン、ハワイアンショッピングモールなどを実施予定
- (5) 主 催 （一社）渋川伊香保温泉観光協会
- (6) そ の 他 詳細は、関連ホームページ（<https://www.ikaho-kankou.com/ikaho-hawaiian/>）を確認してください

3 返礼品について

- (1) 名 称 伊香保ハワイアンフェスティバル2025
メリーモナークショー観覧チケット 特別席
- (2) 提供席数 令和7年7月29日（火）、30日（水）、31日（木）、8月1日（金）の各日4席（計16席）
※観覧希望日の指定はできます（先着順）が、席の指定はできません
- (3) 寄附金額 3万円
- (4) 申込受付期間 令和7年6月18日～7月18日（金）
- (5) 申込方法 市ホームページ（ページID=11600）に掲載している「ふるさと納税ポータルサイト」から申し込んでください
※市公式SNSでも情報発信予定

参考

1 令和6年度の状況

- (1) 名 称 伊香保ハワイアンフェスティバル2024
メリーモナークショー観覧チケット S席
- (2) 提供席数 8月4日開催分12席（席の指定不可）
- (3) 寄附金額 2万円
- (4) 寄附状況 0件（雷雨により中止）

2 伊香保ハワイアンフェスティバル（メリーモナークショー）について

伊香保ハワイアンフェスティバルは、本場ハワイで開催される世界最高峰のフラの祭典Merrie Monarch Festival実行委員会、ハワイ島日系人協会協力のもと、KING KA LAKAUA” THE MERRIE MONARCH®” の称号を付与された国内唯一の大会です。全国から約400組4,000名の参加者が集まり、日頃の練習の成果を発表します。

メリーモナークショーでは、ザ・メリーモナークフェスティバル実行委員会が推薦するチームのメンバーが、本場ハワイのフラを伊香保で披露します。

3 伊香保ハワイアンフェスティバル2025 メリーモナークショー開催日程等

- (1) 開催日 令和7年7月29日(火)～8月1日(金)
- (2) 開催時間 午後8時15分～9時（開場は午後7時45分）
※8月1日(金)は午後5時15分～6時（開場は午後4時45分）
- (3) 会場 メインステージ（市営物聞駐車場）
- (4) 観覧料金
 - ①S席＝5,000円
 - ②A席＝3,500円
 - ③B席＝2,000円
 - ④立ち見席＝無料（テント外からの観覧）

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）

渋川市20周年記念事業 官民協働事業による 「渋川市くらしの便利帳2025」を発行しました

渋川市は、市民の暮らしに役立つ情報の提供を目的として、「くらしの便利帳」を2016（平成28）年から数年おきに発行しています。

今回、(株)サイネックスとの官民協働事業により、「渋川市くらしの便利帳2025」を制作し、渋川市20周年の特集記事のほか、渋川市が推進する共生社会実現や食品ロス削減などの啓発記事を掲載しました。

本誌は、7月中に渋川市内の各家庭に順次配布します。

1 概 要

市役所での各種手続や防災情報など、市民の生活に密着した情報をまとめ、市民サービスの向上を図る冊子の最新版「渋川市くらしの便利帳2025」が完成しました。

本誌では、渋川市20周年を記念して、新市の誕生から20年間の歩みを紹介しています。また、現在、渋川市が取り組んでいる共生社会実現や食品ロス削減、渋P a yなどの啓発記事を新たに掲載しています。

発行は、(株)サイネックスとの官民協働事業として実施したものであり、サイネックス社が広告主を募集し、その広告収入で発行経費を賄っています。



2 発行情報

(1) 発行者 渋川市
(株)サイネックス

(2) 発行部数 3万4,600部

(3) 発行年月 令和7年6月

(4) 掲載内容

①渋川市ガイド 渋川市の取り組み・魅力を紹介（市の概要、新渋川市20年の歩み、共生社会実現、食品ロス削減、温泉・観光案内など）

②行政ガイド 生活に伴う各種手続・サービスや相談窓口、防災情報などを案内

③生活ガイド 医療機関や各種団体を紹介

(5) 広告掲載 100企業・団体

3 配布方法

7月1日（予定）から約1カ月かけて、渋川市内全世帯にポスティング方式（郵便受けに直接投函）で配布を行います。

また、市役所本庁舎市民課及び各行政センターにおいて転入者に配布します。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）